

**製品名: ARHGAP17 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07122**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ELISA   |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量  | 100kDa                                |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | ARHGAP17  |
| 別名           | ARHGAP17; RICH1; MSTP066; MSTP110; Rho GTPase-activating protein 17; Rho-type GTPase-activating protein 17; RhoGAP interacting with CIP4 homologs protein 1; RICH-1 |
| 遺伝子 ID       | 55114.0   |
| SwissProt ID | Q68EM7  |
| 免疫原          | 抗血清はヒト RHG17 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 331-380   |

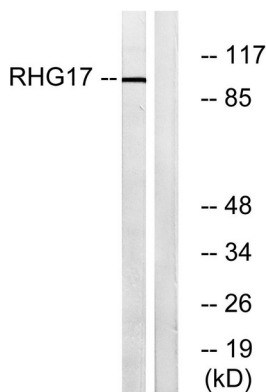
**背景**

RICH1 は GTPase 活性化タンパク質 (GAP) です。GAP は、RHOA (MIM 165390)、RAC1 (MIM 602048)、CDC42 (MIM

116952) といった低分子 G タンパク質の内因性 GTP 加水分解を刺激します。[OMIM 提供、2004 年 4 月], ドメイン: BAR ドメインは AMOT のコイルドコイルドメインとの相互作用を媒介し、AMOT をタイトジャンクションにリクルートします。機能: Rho GTPase 活性化タンパク質は、CDC42 の活性を調節することでタイトジャンクションの維持に関与し、上皮細胞の頂端極性において中心的な役割を果たします。特に、CDC42 GTPase を不活性な GDP 結合状態に変換することで、CDC42 GTPase の GTPase 活性化因子として機能します。AMOT と形成される複合体は、タイトジャンクションにおける極性タンパク質の取り込みを制御することで作用し、タイトジャンクション膜貫通タンパク質を細胞膜にリサイクルするか、他の場所へ送るかを決定すると考えられます。Ca(2+) 依存性のエキソサイトーシス制御に関与し、Rho ファミリータンパク質の GTPase 活性を触媒し、皮質アクチンフィラメントの再編成を誘導することで関与していると考えられます。in vitro では RAC1 の GTPase 活性化因子として作用します。類似性:1 つの BAR ドメインを含みます。類似性:1 つの Rho-GAP ドメインを含みます。細胞内位置:膜に関連し、細胞間接触部位に集中します。サブユニット:複合体の構成要素であり、その中心は ARHGAP17、AMOT、MPP5/PALS1、INADL/PATJ、および PARD3/PAR3 で構成されています。SLC9A3R1、FNBP1、TRIP10、CAPZA (CAPZA1、CAPZA2、または CAPZA3)、CAPZB、CD2AP、および SH3KBP1/CIN85 と相互作用する。組織特異性: 普遍的に発現。心臓および胎盤で高発現。

## 研究分野

## 画像データ



RHG17 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。